

国際政治と米国の外交政策アーカイブ 外交問題評議会(CFR)資料集 1918-2000年 Global Politics and U.S. Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918-2000

国際政治の最前線に迫る：外交問題評議会（CFR）デジタル・アーカイブが登場

2025年12月、Galeの新しいアーカイブシリーズ **Global Politics and U.S. Foreign Policy** の第一弾として **The Council on Foreign Relations 1918-2000** がリリースされました。本シリーズは米国外交政策と国際政治に関する一次資料を提供するものであり、今回リリースされる本モジュールでは、**プリンストン大学図書館が所蔵する外交問題評議会(CFR)の文書約40万ページ**が収録されています。

外交問題評議会の起源は1919年のパリ講和会議にあります。英米代表団が国際問題研究所の設立を構想しましたが直接的には実現せず、その副産物として1920年にロンドンでチャタムハウス、1921年にニューヨークでCFRが創設されました。以来、CFRは国政、金融、産業、教育、科学など各分野の専門家を招き、外交問題に関する継続的な議論の場を提供してきました。中立的立場から政策提言を行い、現在では5,000人以上の会員を擁する世界有数のシンクタンクとして米国外交政策に大きな影響を及ぼしています。歴代米国大統領の中でもハーディング、アイゼンハワー、ニクソン、フォード、カーター、ジョージ・H・W・ブッシュ、クリントンらが会員でした。

本モジュールには研究グループの報告、会議の議事録、書簡が収録されます。研究グループは米国の国益に関わる国や地域の政策を討議するために設置され、その記録が含まれます。会議関連文書には要旨や背景資料が収録され、キッシンジャー、ダレス兄弟、ウ・タント、カストロ、ゴルバチョフ、マンデラら世界的指導者が登壇しました。議論は政治、軍事、国際紛争から貿易、金融、人権、環境、科学技術、核不拡散まで幅広く、20世紀の国際関係を理解する上で不可欠なテーマを網羅しています。

政策は政府だけでなく産業界や学術機関、NGOなど多様なアクターによって形成されます。外交政策も同様ですが、その影響過程は十分に解明されていません。CFRの文書群はこの欠落を補い、米国外交政策決定過程を多角的に検証するための貴重な資料となります。



Global Politics and U.S. Foreign Policy: The Council on Foreign Relations, 1918-2000 価格表

FTE（教職員数＋学生数）	<5,000	<15,000	<30,000	30,001+
Archive買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

※大学・学術機関向けIPアドレス接続／同時アクセス無制限でのご利用となります。

※記載の価格は参考価格になります。正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間ホスティングフィーは不要です。

無料トライアル承ります!! 詳細お問い合わせは弊社までお申し付けください

日本総代理店 **極東書店**



FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

<https://www.kyokuto-bk.co.jp>

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531
075(353)2093
092(751)6956

FAX (3265)7531
FAX (353)2093
FAX (751)6956

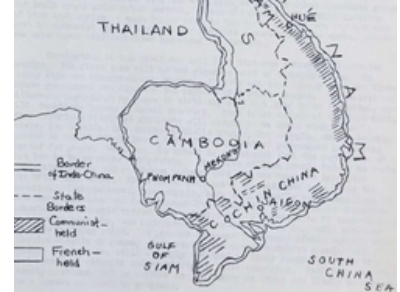
info@kyokuto-bk.co.jp

Council on Foreign Relations (CFR)とは？

外交問題評議会（CFR）は、1921年に設立された独立系で超党派のシンクタンクです。国際社会およびアメリカの外交政策に対する国民の理解を深めるという明確な目的のもと、設立以来100年以上にわたり、活発な研究と対話を通じて政策形成に貢献し続けています。

今回デジタル化されたファイルは、外交問題評議会（CFR）のアーカイブに保存されていた「Records of Groups」および「Records of Meetings」に基づくものであり、国際関係や米国のソフトパワー、労働問題、経済・金融政策、国際貿易、技術や軍事分野、国家および国際安全保障、中東・中国・東南アジアといった米国にとって戦略的重要性の高い地域の政治情勢まで、極めて幅広いトピックを網羅しています。

- 歴史に刻まれた知見の集約：20世紀を通じて行われた政策重視の会議や研究 プログラムを通して、アメリカの国際的立場と世界的出来事に関する深い洞察を提供。
- 時代を動かした講演者陣：ヘンリー・キッシンジャー、コンドリーザ・ライス、そしてジョー・バイデンといった米国の高官に加え、ネルソン・マンデラなど国際的なリーダーも登壇。まさに世界が注目する知のフォーラムです。
- 多様なフォーマットと切り口：公開講演、クロードセッション、専門家会合など、異なる角度からの政策論が記録されており、テーマ横断的な研究にも最適です。



<収録コンテンツ（抜粋）>

◆ 米国の外交政策と国際関係

- カリブ海・中南米政策（1924-1925）
- 米国と中国の世界情勢における関係（全7部）（1962-1965）
- 米加貿易交渉（第1回会合：1986年12月4日）
- ソビエト政策の背景と米国の対ソ政策（セミナー：1978年4月14日）

◆ 地域安全保障と戦略

- フィリピン基地に関する研究会（第1回会合：1987年6月22日）
- 南アジアの安全保障の新展開（1999年9月22日）
- アメリカ国防政策の将来構想（1999年5月26日）

◆ 平和と人権

- コソボにおける民族・少数民族の権利の解決（1967年-1996年）
- 中東和平プロセス：未来への投資（1995年5月18-19日）
- 湾岸地域における米国の今後の関与（1996年3月12-13日）

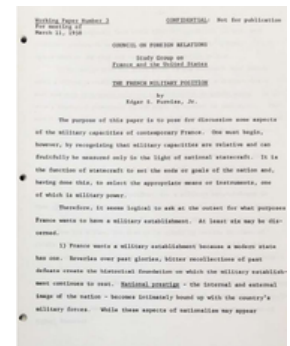
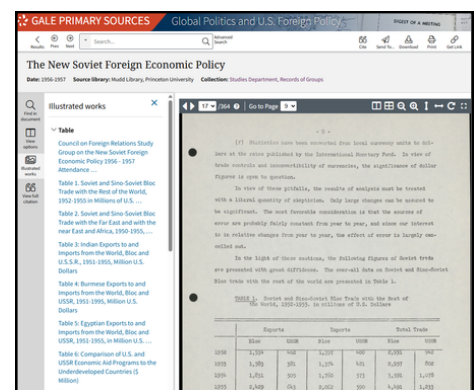
◆ グローバル化研究グループ

- セッションI「ムスリムの制度化過程」（1996年6月18日）
- セッションII「グローバル通信の進展」（1996年6月25日）
- セッションIII「グローバル化とムスリムの諸課題」（1996年7月1日）

◆ 注目の会議と講演

- 「日米国際課題：1990年代への展望」 講演者：小和田恆（1990年3月26日）
- 「ソビエト連邦の変化と米ソ関係の展望」 講演者：コンドリーザ・ライス（1989年9月11日）
- 「モスクワとワシントン：冬の間報告」 講演者：ジョー・バイデン、ウィリアム・コーエン（1984年4月12日）
- 「キューバ危機を振り返って」 講演者：ジョン・マクロイ、ヘンリー・リストン（1963年2月4日）

※上記はリリース前の予定であり変更される可能性もございます



【データベースの概要】

- 収録文書の種別：タイプ打ち原稿、手稿他（いずれもフルテキスト検索に対応）
- 収録資料の期間：1918年-2000年
- 収録資料のページ数：約40万ページ
- 収録資料の言語：英語・原資料所蔵機関：プリンストン大学図書館
- 機能：ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDFファイルのダウンロード、OCR/HTRテキストの表示・ダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール送信、Google/Microsoftログインとクラウド連携を実装



株式会社 極東書店

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル

TEL: 03-3265-7531 FAX: 03-3556-3761 <https://www.kyokuto-bk.co.jp> E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp